

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

## 報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 30 年 2 月 2 3 日（金） 午後 2 時 0 0 分～ 3 時 5 0 分
場 所	人吉市 アンジェリーク平安
目 的	球磨郡町村議会議員研修会

報 告 の 内 容	<p>講師：熊本県危機管理防災企画監 有浦 隆（ありうら たかし）氏          演題：町村防災とは？ ～熊本地震の教訓とともに～</p> <p>◆研修内容 ※平成 30 年度熊本県町村議会議員研修会とほぼ同じ内容</p> <p>1. 防災とは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災とは、災害を未然に防止し、災害が発生した場合に、被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図ること。防災での失敗は、命に関わる！！</li> </ul> <p>2. 防災の本質は <b>予防</b> にあり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政は住民を災いなき地におき、災いの前に逃す。</li> <li>・住民は疑わしきを察し、災いの前に逃れる。</li> <li>・<b>予防</b>に勝る対策なし。</li> </ul> <p>3. 国のプッシュ型支援の改善策</p> <p><b>【解説】</b>プッシュ型支援とは、国が被災自治体の要請を待つことなく物資を輸送する方式。被災者に安心感を与え大変有効ではあるが、被災地では避難所まで運搬する手段、人手、保管場所不足などの問題が発生し混乱をきたすこともある。</p> <p><b>【改善点】</b>リックにセット（パック）での梱包</p>
-----------------------	---

- ・直接避難所に届ける直接配送方式への変更が必要。
- ・セット（パック）にするのは、特に菓、食糧、水、老若男女用下着、塩、うちわ、アメニティなど。特に、女性、子供目線で準備すべき。
- ・九州地区であれば、その中心に位置する熊本に集積拠点を置き、民間業者間で輸送する体制を構築すべき。

#### 4. 行政事務の改善策

##### ○災害発生後の行政事務

- ・罹災証明証の発行や建物被害認定調査、避難所運営訓練など、大規模災害の経験が少ない市町村職員に経験やノウハウが無いため、他自治体からの応援と職員教育でなんとか軌道にのせた。この種の訓練と準備が必要。

##### ○避難所

- ・行政目線で設置している自治体が多い。  
住民は、コミュニティー（避難生活をカバーしてくれる人がいる集団）がある場所を求めている。速やかに避難できる環境整備が必要。

##### ○自主防災組織の育成

- ・自主避難所の開設や運営を、住民自らが実施。
- ・自助努力意識の向上で、職員力の他業務への移行が可能になる。

##### ○耐震化調査

- ・1981年より前（建築基準法（旧耐震基準））に建てられた建物の調査・対策。  
関連死50名のうち、48名が圧死。

##### ○高齢者対応

- ・関連死196名（2017年10月4日現在）の約8割が高齢者。

#### 5. 災害に強い町づくり

##### ○住民自らの準備

- ・自らの命は自らが守る気概と地域の連携作り。

##### ○防災リーダー（スペシャリスト）

- ・学んだ知識と豊かな発想を活かし、各種計画の作成と準備。
- ・実員指導力を発揮し、初動（72時間対応）を統制。

##### ○災害発生後の滞りない行政事務

- ・被災者は、まず命を求め、住を求め、お金を求める。これらの対応準備。
- ・自衛隊の受援対応。（100名滞在、25両駐車場所、ヘリポート100m×100m）

##### ◆所感

- ・民間建物の耐震化調査、自衛隊の受援対応、住民自らの準備状況など、**予防**を意識した本町の防災対策について、引き続き政策議会で取り組んでいく。